

川崎市総合計画市民検討会議 第3部会 意見シートのまとめ

分類	ご意見
会議の進め方について	<ul style="list-style-type: none"> ・ 有意義な会議だった。会議での意見が市の各部署でどのように活用されているのかフィードバックしてほしい。 ・ 両グループで同じような内容の意見が提起されているので、是非具体的な施策に落としたい。 ・ 公助に対する意見が多く出た。市民がうまくニーズを伝えられ、それをうまく拾って行って施策を作ることができるとよい。 ・ 多世代交流、地域コミュニティの活性化は、どの部会でも挙がっているが、具体的に掘り下げていくと非常に難しいテーマなので、時間をかけて議論したい。 ・ 自助・共助・公助のそれぞれで意見を出し合うスタイルは良いと思ったが、民間活用などももっと意識すべき。公助に関しても、国の役割と市の役割を整理しておいた方が議論しやすい。 ・ 地域交通のあるべき姿について、日頃課題に感じていることが議論できて良かった。 ・ このテーマは、皆が強い興味を持つ分野なので、討議に熱が入り、時間が短く感じた。 ・ 充実した意見交換ができた。 ・ 長く愛される川崎になるよう、アイデアがまとまって計画されていくのが楽しみ。
暮らし・交通分野について	<p><全般></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 発展途上のエリアなら、今後も川崎は、他自治体から“範”とされる都市開発が可能だと思う。 ・ 地域住民の安全・安心と 20～30 年後の中長期的な展望に沿った都市開発を具現化して頂きたい。 <p><交通></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 既存バス路線等、現行の運用の固定化せず、フレキシブル化を進め、コミュニティ巡回バス・民間送迎バスの活用等も含め、オンデマンド型の運用が重要。 ・ 高齢化に伴い、公共交通は重要であり、改善して欲しい事項が多いので、少しずつでも改善に向けて動いてほしい。 ・ コミュニティバスなど会議で出された意見が実現されることを願う。 ・ 自転車については早急にルールを根付かせる必要がある。 <p><住まい・身近な住環境></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 世代間も含め、地域交流の活性化と地域住民による自主管理の拡大が重要。 ・ 地域コミュニティの活用のため、空家・空室の活用、幼稚園・小学校と老人施設との併設、市民同士の住居の等価交換、近居した場合の減税など、是非検討してほしい。 ・ 川崎が「住みたい街」から「住み続けたい街」、さらに「住んで良かった街」になるための魅力づくりに力を入れてみたい。 ・ 高齢化を踏まえたライフステージに合わせた住み替えは、とても興味深い意見だと思う。 ・ 高齢化がさらに進む 20 年後に向けて、高齢化に対応した医療対策を検討すべき。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市の作成資料（パンフレット）にコストをかけすぎではないか。民間では考えられない。